

大使館情報

2021年8月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会
- (2) 大統領動静
- (3) 反政府デモの発生
- (4) 閣僚の交代及び労働社会保障省の創設
- (5) ボルソナーロ政権の支持率

[外交]

- (1) 第13回 CPLP 首脳会合及び第26回 CPLP 閣僚級会合
- (2) 伯米関係
- (3) 伯秘関係

3. トピックス

佐野総領事の「東京 2020 関連オンラインイベント」セミナー（在レシフェ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（7月発表の経済指標）

- (ア) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査 (Focus 調査) に関して、7月30日時点で、GDP成長率予測については、2021年は5.30%（前週より0.01%ポイント上昇）で、2022年は2.10%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2021年は6.79%（前週から0.23%ポイント上昇）で、2022年は3.81%（前週から0.01%ポイント上昇）となった。
- (イ) 5月の鉱工業生産指数は前月比+1.4%と2021年1月以来4か月振りの増加、前年同月比では+24.0%となった。
- (ウ) 5月の小売売上高は前月比+1.4%（4月分は同+1.8%→同+4.9%と改定）、前年同月比+16.0%となった。
- (エ) 全国の失業率（2021年3～5月）は14.6%となり、2021年2～4月の移動平均14.7%から0.1%ポイント低下した。前年同期比（2020年3～5月：12.9%）では1.7%ポイント上昇した。
- (オ) 6月の拡大消費者物価指数 (IPCA) は前月比+0.53%となり、前月の0.83%から上昇幅は0.30%ポイント縮小。直近12カ月累計は+8.35%となり、前月の8.06%から上昇幅は0.29%ポイント拡大。
- (カ) 2021年7月の貿易収支は73.95億ドルの黒字。2021年1～7月の累計は441.27億ドルの黒字。

(2) 経済政策等

- (ア) 7月5日、政府は7月までの予定であった貧困層向け緊急支援策を10月まで延長することを発表。既存の支給額（家族構成によって150リアル～375リアル）が維持される見通し。また、7月20日、大統領は低所得家庭を対象としたボルサファミリアの支給額を現行の190リアルから約50%引き上げ、平均300リアルとすると述べた。
- (イ) 7月14日、経済省は経済見通しにおいて、2021年の実質GDP成長率は前年比+5.3%（前回5月の見通し：+3.5%）と上方修正し、拡大消費者物価 (ICPA) は前年比+5.9%（前回：+5.05%）との予測値を公表した。
- (ウ) 7月21日、経済省連邦歳入局は2021年6月及び上半期（1～6月）の税収額を公表。6月の税収額は1,371億リアルで、前年同月比+46.77%、上半期の累積の税収額は8,819億リアルで、前年同期比+24.49%（伸び率はいずれもインフレ率調整済み）。2000年以降で、6月としてまた半期ベースとしては最大の税収額となった。

(3) 金融政策

今回の伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) は 8 月 3 日及び 4 日に開催。

(4) 為替市場

(ア) 7 月の為替市場は 5.04～5.25 レアル/ドルで推移。

(イ) 月の前半は 5.04～5.25 レアル/ドルで推移。ワクチンを巡る不正疑惑による政治への先行き不安やデルタ株の感染拡大懸念を背景としたレアル安の動きと、米国の金融緩和策の早期縮小観測の後退によるレアル高の動き。

(ウ) 月の後半は 5.08～5.25 レアル/ドルで推移。物価上昇やデルタ株拡大による景気回復期待の後退、財政に対する先行き不安を材料にしてレアル安が進む一方、次回 (8 月 3、4 日) の金融政策委員会における政策金利引き上げ幅の予測が従前の 75bp から 100bp へ拡大したこと、米国金融緩和策が継続するとの見通しからドル安レアル高となる展開となった。

(5) 株式市場

(ア) 7 月の株式市場は 121,801～128,407 ポイントで推移。

(イ) 月の前半は 125,666～128,407 ポイントで推移。ワクチンを巡る不正疑惑や感染拡大による、政治と経済への先行き不安を背景とした下落と、米中の金融緩和策やブラジルの税制改革の進捗期待を背景とした上昇の動きで一進一退。

(ウ) 月の後半は 121,801～126,286 で推移。主に鉄鉱石や原油といった資源価格の動向に影響され上下する展開。

2. ブラジル政治情勢 (7 月の出来事)

【内政】

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会

(ア) 7 月、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会 (CPI) の証人喚問及び参考人招致が行われ、ドミンゲッティ・ペレイラ Davati 社代理人 (1 日)、レジーナ・セリア・オリヴェイラ ロジスティクス局輸入課長 (6 日)、ロベルト・ディアス前保健省ロジスティクス部長 (7 日)、ファンティナート元保健省国家ワクチン接種プログラム調整官 (8 日)、サンターナ保健省技術顧問 (9 日)、メドラーデス Precisa 社取締役 13 日及び 14 日)、カルヴァーリョ Davati 社伯代表 (15 日) が供述を行った。

(イ) 7 月 14 日、上院本会議の票決により、本件 CPI の開催期間が 90 日間

延長されることが決定された。この決定に伴い、本件 CPI は 11 月上旬まで継続される予定。

(2) 大統領動静

7 月 14 日、ボルソナーロ大統領は、腹部の痛みを訴えて病院にて検査を行ったところ、腸閉塞と診断された。更なる検査のためサンパウロ市内の病院に移送された後、腸閉塞が観察されなくなった旨の診断を受けて 18 日に退院した。医療チームの経過観察の下、19 日より大統領府執務室での公務に復帰している。

(3) 反政府デモの発生

7 月 24 日、国内外 500 か所以上において反政府デモが発生した。

(4) 閣僚の交代及び労働社会保障省の創設

7 月 28 日、大統領府文官長及び同事務総局長官の交代並びに労働社会保障省の創設に関する官報が発出された。今般の閣僚人事については以下のとおり。

(ア) 大統領府文官長：シロ・ノゲイラ上院議員 (PP：進歩党)

(イ) 大統領府事務総局長官：ルイス・エドゥアルド・ラモス前文官長

(ウ) 労働社会保障大臣：オニキス・ロレンゾーニ前事務総局長官 (DEM：民主党)

(5) ボルソナーロ政権の支持率

(ア) 7 月 5 日、MDA 社 (CNT 委託) による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は 27.7% (前回調査：32.9%) に下落し、不支持率は 48.2% (前回調査：35.5%) に上昇した。

(イ) 7 月 9 日、ダッタフォーリャ社による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は 24% (前回調査：24%) を維持し、不支持率は 51% (前回調査：45%) に上昇した。

【外交】

(1) 第 13 回 CPLP 首脳会合及び第 26 回 CPLP 閣僚級会合

7 月 17 日、アンゴラにおいて第 13 回 CPLP (ポルトガル語圏諸国共同体) 首脳会合が開催され、ボルソナーロ大統領の代理としてモウラオン副大統領が出席した。また、同首脳会合に先んじて第 26 回 CPLP 閣僚級会合が開催され、フランサ外務大臣が出席した。モウラオン副大統領は、16 日にロウレンソ・アンゴラ大統領への表敬訪問を行った。

(2) 伯米関係

7月20日、フランス外相は、チャップマン米国大使のフェアウェルランチを開催した(25日に離任)。同大使は、伯政府より南十字星国家勲章及び空軍勲章等を受章した。

(3) 伯秘関係

7月28日、モウラオン副大統領及びフランス外相は、カスティージョ・ペルー新大統領の就任式に出席した。フランス外相は、スペイン、パナマ、ウルグアイ及びパラグアイ等各国外相との会談を行った。

3. トピックス

佐野総領事の「東京 2020 関連オンラインイベント」セミナー（在レシフェ総領事館）

7月16日、ペルナンブコ連邦大学ケイゾウ・アサミ免疫病理学研究所(LIKA)主催のウェビナーにおいて、佐野総領事が「東京 2020-パンデミックを乗り越えて」をテーマに講演を行った。本セミナーにはルイス LIKA 所長、ピタンガ伯トライアスロン協会会長他が参加。

本講演において、佐野総領事はコロナ禍における安全で安心な東京 2020 大会に向けての取組等について説明した他、参加者と活発な意見交換を実施した。



オンラインセミナーの様相

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) ゴイアス日伯文化協会創立 65 周年記念特別セッション（在ブラジル大使館）

日時：8月9日（月）17時～

場所：ゴイアス市議会及び [YouTube](#)

内容：ゴイアス日伯文化協会創立 65 周年を記念し、市議会主催でセレモニーを行う。山田大使のビデオメッセージが放送される予定。

(イ) 第 19 回ゴイアス盆踊り（在ブラジル大使館）

日時：8月27日（金）、28日（土）20時～

場所：ゴイアス日伯協会会館（一部団体アカウントでオンライン配信予定）

内容：ドライブイン方式で、盆踊り祭りを開催。

(ウ) REVI2021: “Há 25 anos mantendo a chama viva”（在ブラジル大使館）

日時：8月28日（土）10時～

サイト：文協 [YouTube](#) チャンネルで放送予定。

内容：各日系団体の青年代表を招き、日系社会の抱える問題や課題を議論する。冒頭、山田大使からビデオメッセージが流れる予定。

(エ) Festival do Japão RS（リオグランデドスール州日本祭りライブ）（在ポルトアレグレ領事事務所）

日時：8月15日（日）18時～

場所：リオグランデドスール州日本祭り実行委員会 SNS

内容：今年の祭りのテーマである「健康と長寿」の下、食習慣を始めとした健康的な日本のライフスタイルの紹介に加えて、芸術、音楽、舞踊、武道等の日本文化を総合的に紹介するオンライン事業。（[HP](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[インスタグラム](#)）

(オ) 「俳句に関する講演会とワークショップ」（在サンパウロ総）

日時：8月18日（水）

サイト：[こちら](#)

内容：黛(まゆずみ)まどか氏を講師に招き、俳句に関する講演会、及びワークショップを実施。7月27日に発表されるテーマに基づき投句のあった作品の中から、優れたものについて講師が講評

する。(Zoom で開催)

(カ) Rosa para Hiroshima ～広島へ、祈りを込めて薔薇の花束を～ (国際交流基金)

日時：8月5日(木) 20時15時～

サイト：<https://www.youtube.com/c/SinosnaFloresta>

内容：広島に原爆投下された日(1945年8月6日、)に合わせ、サン・ベント修道院(サンパウロ市内)で収録した楽曲をオンライン配信。

一音一音が広島に捧げるバラの花(献花)を表しており、尺八奏者のシェン・響盟・リベイロとギタリストのチアゴ・タバレスの演奏を通して平和の声を届ける。

(キ) 2021年 第2回 FJSP ウェビナー「パウロ・フレイレと対話する言語教育」(国際交流基金)

日時：8月22日(日) 15時～17時

サイト：<https://fjsp.org.br/agenda/webinario-fjsp-paulo-freire-2/>

内容：パウロ・フレイレの生誕100周年を記念したイベント。パラナ連邦大学のジュリアナ・マルティネス教授を迎え、日本語を含めたブラジルにおける外国語教育の中でフレイレの思想がどのように実践されているか紹介する。

(ク) Tradução em Foco (国際交流基金)

日時：8月27日(金)

サイト：<https://fjsp.org.br/traducaoemfoco/> (国際交流基金サンパウロ日本文化センター公式HP)

内容：ブラジルで活躍する日本文学等の翻訳者達の活動を紹介したエッセーを発信。

(ケ) Destaques da Biblioteca – agosto/2021 (2021年8月 図書館の図書紹介) (国際交流基金)

日時：8月30日(月)

サイト：[DESTAQUES DA BIBLIOTECA | Fundação Japão em São Paulo \(fjsp.org.br\)](https://www.fjsp.org.br/destaques-da-biblioteca-agosto-2021)

内容：国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館の蔵書から、毎月図書を紹介する。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和3年度第1四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsपोthazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html